

## 【ゴール8】

すべてのひとのための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

【課題提起】 国税の電子申告の普及はまだ道半ばの状況。企業の生産性向上を推進する観点から環境整備が大きな課題となっています。  
【めざす姿】 大平会計は、納税や決算申告の電子化や金融サービスとの連携を進め、中小や零細の仕事効率化や成長のお手伝いを推進します。

メインターゲット (サブターゲット)	国内の政策	事業内容／目的	取組内容	達成目標		
				KPI	数値評価	期間
8.5	女性活躍推進法	女性管理職の登用	女性の労働観の変化に即し、優秀な人材は男女問わず管理職に登用していく。	女性管理職割合の増加率	20%増	2025年
8.8	ワークライフ バランス憲章	ワークライフバランス	NO残業デーを設置する	残業時間の減少率	50%減	2025年
	働き方改革		リモートワークの推奨			2021年
8.10.2	大法人の 電子申告義務化	ネットバンキングと 会計ソフトの連動	伝票や書類受け渡しの回避。銀行へ行かないスタイルの確立。	関与先ネットバンク利用率	70%	2025年
8.3	スマート納税	納税の電子化	ダイレクト納付の推奨 納付書の手書きを廃止する	ダイレクト納付率	100%	2022年

国内政策

電子申告・納税の促進について

電子申告の義務化（現在は大法人に限る）

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/miraitoshikaigi/sankankyougikai2019/infrastructure/dai2/siryou2-1-1.pdf>  
[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/mof\\_budget/review/2019/300009shiryo.pdf](https://www.mof.go.jp/about_mof/mof_budget/review/2019/300009shiryo.pdf)

### ターゲットに対する目標達成の期待効果

8.10	ターゲット8.10	内容：国内の金融機関との連携を強化し、事務の効率に役立てる
	期待する効果	会計処理のスピード化。納税等の処理をわざわざ移動しなくても完了させる
8.3	ターゲット8.3	内容：働きがいのある人がやるべき仕事の確立をめざす
	期待する効果	電子化による作業の効率化で人ならではの仕事に従事できる時間を増加させる効果
8.5	ターゲット8.5	内容：女性管理職の登用を積極的に行う
	期待する効果	結婚や育児によってどうしても負担が増える女性が働きやすい環境の整備が進む